

中外ライフサイエンスパーク横浜の 環境保全への取り組み

2023年4月、横浜市戸塚区に革新的な新薬創出を目指す研究拠点「中外ライフサイエンスパーク横浜」が稼働しました。

『Green Innovation Village～緑の中に点在する最先端創造研究所』というコンセプトのもと設計され、地域と連携しながら、持続可能な環境づくりに積極的に取り組んでいます。

これらの活動が評価され、2025年11月、第32回横浜環境活動賞（企業の部）において、【大賞】および【生物多様性特別賞】を同時受賞しました。



自然共生サイト認定

中外ライフサイエンスパーク横浜は横浜市水と緑の基本計画に描かれる「水と緑の回廊像」の「柏尾川流域」にあります。柏尾川は、舞岡公園や戸塚公園などの緑豊かな場所をつなぐ大切な緑の軸。その川を挟んで、私たちの施設は東西に広がっています。ここでは、生物多様性を大切にし、地域在来種を中心に植生しました。こうした取り組みによって、周辺地域に暮らす生き物たちにとって重要な場所となっています。

公開緑道は、地域の皆さんが散歩や休息を楽しめる場所であり、生きものと触れ合える癒しの場です。環境活動団体の環境教育イベントに活用されています。

これらの取り組みが評価され、環境省の「自然共生サイト」（令和6年度後期）に認定され、「OECM（Other Effective area-based Conservation Measures）」国際データベースに登録されました。



引用・転載：横浜市水と緑の基本計画
流域ごとの推進計画⑥柏尾川流域



敷地内で希少種が確認されています

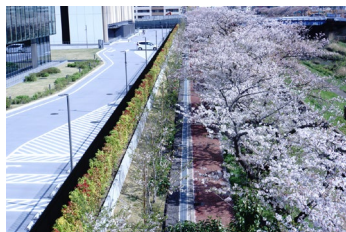


敷地内でコチドリのひなも確認されました

中外ライフサイエンスパーク横浜の 環境保全への取り組み

地域景観との調和・桜並木の継承

柏尾川プロムナードの美しい桜の景観に奥行きを与えるよう敷地境界部分にも桜を植栽しました。歴史ある桜の景観が広がりをもって継承されるよう配慮しています。



また、敷地西側は敷地境界沿いに長さ約300m以上の大きな緑地帯を整備しました。ここでは地域在来種を中心に植えています。さらに、地域の皆さんに楽しんでいただけるような、遊歩道を設けております。

社員主導の環境啓発活動チーム「Eco Innovators」

環境問題の解決に向けて、社員主導の環境啓発活動チーム「Eco Innovators」を立ち上げました。2025年は横浜市戸塚区の舞岡公園で里山保全活動を行ったり、港南区大岡川でSUPを使ったゴミ拾いを実施し、地域の環境を守る取り組みを進めています。

Eco Innovators



大岡川みなとみらいSUPごみ拾い（港南区）



舞岡公園里山保全活動（戸塚区）

太陽光発電装置導入 サステナブル電力の調達



太陽光発電装置の導入

屋上の一部には太陽光パネルを設置し、そこで発電した電力を照明や空調に利用しています。また、購入する電力の99.9%はCO2を出さない水力発電由来のサステナブル電力としています。残りの0.1%も非化石証書を利用することで実質CO2排出ゼロとし、購入する電力を100%サステナブルにしています。

中外ライフサイエンスパーク横浜
ウェブサイト
<https://www.chugai-pharm.co.jp/profile/lsp/index.html>

